

令和7年3月28日
四国電力送配電株式会社

2025年度供給計画（一般送配電事業者分）に基づく 四国エリアの電力需給見通し等について

当社は、本年3月25日、電力広域的運営推進機関（以下、広域機関）に対し、2025年度供給計画（一般送配電事業者分）を提出いたしました。

本日、広域機関が、全国のエリア需給バランスを評価・公表したことに合わせて、以下のとおり、四国エリアの電力需給見通し等について、お知らせいたします。

1. 四国エリアの電力需要見通し

	2024年度 〔実績 見込〕	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2034年度	24～34 年平均 伸び率
需要電力量 〔使用端：億kWh〕	240 <248>	238	236	235	232	230	219	▲0.9 <▲1.2>
最大電力 〔送電端：万kW〕	474 <500>	476	472	468	464	459	439	▲0.8 <▲1.3>

〔注1〕< >内は、気温補正前の数値。

〔注2〕最大電力は、夏季における最大3日の平均電力。

2. 四国エリアの夏季電力需給見通し

〔送電端、万kW、%、kWh/kW・年〕

	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2034年度	
最大電力	476	472	468	464	459	439	
供給力	653	561	\				\
供給予備力	177	89					
供給予備率	37.1	18.8					
年間EUE	0.000	0.000	0.002	0.006	0.008	0.001	

〔注3〕2021年度より供給計画における供給信頼度基準として年間EUEで評価しており、年間の目標停電量(0.009～0.018kWh/kW・年)を下回ることを確認。また、2025年度、2026年度については、供給予備率についても確認。

3. 流通設備計画

○主要送電線路および主要変電所の整備計画

整備計画	電圧およびこう長	変更理由	使用開始年月 (廃止年月)
伊方北幹線 電線張替	18.7万V 19km	高経年化対策	2028年9月
松山変電所 No.2 変圧器廃止	18.7万V/6.6万V 200MVA	高経年化対策	(2026年10月)

以上